

■ 開講年度	■ 開講学期	■ 開講学部等		
2017	後学期	法文学部人文学科		
■ 科目ナンバリング	■ 時間割番号	■ 科目名[英文名]		
	213222	フランス言語文化演習B Seminar in French Language and Culture B		
■ 担当教員[ローマ字表記]				■ 単位数
柳 光子 [YANAGI Mitsuko]				2
■ 授業科目区分	専門教育科目 専門教育科目	■ 対象学生	■ 対象年次	3～

## 授業題目

論文作法——研究・執筆の手引  
(Guidance to Academic Writing)

## 授業のキーワード

スタディ・スキル (Study skills), 論文執筆 (Academic Writing)

## 授業の目的

論文執筆の意義について考え、テーマの定めかたから註の施しかたに至るまでの具体的な技術を習得する。

## 授業の到達目標

- (1) 自分の興味・関心に応じたテーマを設定できる。
- (2) 論文執筆のために必要な文献を検索・収集できる。
- (3) 学術的な文章の記述と構成ができる。

## ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標) / 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

自ら設定した課題について、人間文化、地域文化、歴史文化、言語文化のいずれかの学問領域の研究方法を用いて、考察することができる。

他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭表現や文章表現によつて的確に伝えることができる。

## 愛媛大学学生として期待される能力 (愛大学生コンピテンシー) に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる  
習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現 (記述・口述) できる  
広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる

## 授業概要

4回生にとっては卒論指導、3回生以下の受講生にとっては卒論に向けての準備学習のための授業です。

## 授業スケジュール

通年で実施される卒論指導および卒論準備学習ですが、前学期にはテーマの選定、資料収集、論文構想のまとめなど、執筆の準備段階を目安とした指導を行います。後学期には論文構想に適宜修正を加えながら、各章ごとの執筆、註やレジメの作成等を中心に指導を行う予定。卒論構想発表、中間報告、成果報告なども適宜、課されます。

各回のスケジュールは授業開始後に決定しますが、上記の内容を16回の授業の間に行います。

## 授業時間外学習にかかわる情報

目標とする実力を身につけるには、事前に配付資料に目を通す、口頭発表の準備をするなどの受講生自身による学習を必要とします。

## 成績評価方法

平常点により成績を判定。

## 受講条件

担当者の指導により卒業論文を執筆予定の学生を対象とします。ゼミ生は学年を問わず必修。

## 受講のルール

論文執筆の指南書・ルールブックの類を必要に応じて参照すること。

業中に配付する資料を、次の回以降に受け取ることはできません。欠席などにより受け取らなかった場合、その週のうちに連絡し、次回の前までに研究室まで取りに来ること。それができなかつた場合は、他の受講生から借りるなどして自分で解決しなければなりません。また、やむをえず授業を欠席する場合は必ず連絡を入れること。

## 教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	-			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

## 参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	-			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

## 教科書・参考書に関する補足情報

教科書は使用せず、必要に応じて資料を配付。

## オフィスアワー

木曜 14:30-15:30（時間調整が必要な場合があるため、できるだけ前日までにメールで連絡してください。また、事前連絡があれば、可能な範囲で他の曜日・時間帯にも対応します）

## Eメールアドレス

yanagi.mitsuko.mx@ehime-u.ac.jp

## 連絡先

---

柳研究室：法文本館 8 階 (801)

## 参照ホームページ

---

学習支援サイト（略称: AFA）をぜひ活用してください。  
<http://afa.ll.ehime-u.ac.jp>（「愛大」「AFA」で検索してもヒットします）

近年の卒論の題目や概略も閲覧可能です。  
<http://afa.ll.ehime-u.ac.jp/memoires/>

## その他

---